

令和4年3月13日

岩手県ソフトテニス連盟
評議員の皆様へ

岩手県ソフトテニス連盟
会長 新沼 正博（公印略）

令和4年度岩手県ソフトテニス連盟評議員会の書面決議結果について
前略失礼いたします。

この度は、新型コロナウイルスの感染急拡大とはいえ、評議員会書面決議にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

お蔭様で、書面決議の結果は下記の通り全議案に対して、評議員38名（会長、副会長7名、評議員30名）のうち過半数のご回答をいただくとともにその過半数のご承認をいただきましたので、岩手県ソフトテニス連盟規約第17条に基づき原案通り決議されたことをご報告申し上げます。

併せていただきましたご意見・ご質問につきましては、今年度、機会を見て対応させていただきます。

書面決議回答者29名

(1) 令和3年度事業報告	承認(29名) 不承認(0名)
(2) 令和3年度決算報告	承認(29名) 不承認(0名)
(3) 令和4年度基本方針案	承認(29名) 不承認(0名)
(4) 令和4年度事業計画案	承認(29名) 不承認(0名)
(5) 令和4年度予算案	承認(29名) 不承認(0名)

【意見等】

- ・日連は4年度計画で「普及振興事業」を柱の1つとし、支援としての予算措置、学校部活動の地域への移行の推進を掲げている。岩手でも現状を踏まえた時、普及の検証と事業の導入、部活動の地域活動の移行についての具体の取り組みが必要と考える。
- ・コロナの流行もなかなか終わりが見えず、各種大会での運営に気をつかわれることが多いと思います。日本マスターズまでにはすべてが解決してくれることを祈ります。
- ・3年度選手権において、まん延防止地域在住の選手が参加できず、翌日国体選考では参加可であった。今年度以降再考を求めます。
- ・中体連専門部としても、ガバナンス・コンプライアンスの強化を進めていきたいと考えております。

- ・ 県民体育大会（地区対抗）要項について P81

8 試合方法（3）は削除すべき。

理由：東日本大震災を理由にチーム編成が出来ない沿岸市町村への救済措置（宮古市は当初から反対）であるが、既に10年以上経過している。また、今まで救済措置を利用した沿岸市町村も少なかった。会員不足の市町村（宮古市含む）も多く、毎年、チーム編成に苦慮していますが、欠員が出る場合は、現行のオープン参加の対応が良いと考えます。

- ・ 学校部活動から地域部活動へ移行支援について、実施希望はありますか？
- ・ 会員登録の新システムについて、岩手独自で会員登録カードを用意しますか？

小中生はあったほうが良いと思います。

総務委員会の仕事と思いますが、必要であれば手伝います。

その他

- ・ 平泉町の登録団体の削除はしても良いか？

- ・ 議案書の27ページの大会結果が違っておりましたのでお伝えします。

7/24、25のスポ少交流会の男子団体Cの部の優勝と2位が逆です。

正しくは優勝がこずかたSTC、2位が水沢南STCです。

担当：岩手県ソフトテニス連盟 理事長 宮田 勤

〒020-0122 盛岡市みたけ4丁目15-25 電話 019-641-5907(Fax 兼用)

Eメール tsutomu-miyata@mti.biglobe.ne.jp